食の安全・安心の取り組み

商品取り扱いの考え方

想いをかたちに コープ商品

信頼されるコープ商品であり続けるために、5つの約束を果たし、
想いをかたちにしていきます。

1 安全・品質
2 おいしさ 使いやすさ
3 社会やくらしに 貢献
4 利用しやすい 価格
5 わかりやすい 情報

このマークの商品が目印です

- 日本生協連が開発したコープ商品
- コープ北陸が開発したコープ商品
- 県民せいきょうが開発したオリジナル商品
- コープこうべが開発したコープ商品

生協の食品添加物基準

コープの宅配・ハーツで取り扱う商品は、仕様書を確認し、県民せいきょうの食品添加物基準にあった商品のみを提供しています。

①基本的考え方

「不必要な添加物や有害な添加物を使用しない」を基本に、使用する場合でも「安全性」「必要性」「有用性」を十分に考慮し、必要最小限の使用にとどめます。

②自主使用基準

（2025年4月現在）

日本生協連の安全性評価の結果に基づき、国が認めた食品添加物のうち、何らかの制限を加える必要があると判断したものを「管理添加物」としています。

1 「不使用添加物」10品目

「安全性を量的に判断する科学的根拠がない物質」及び「遺伝毒性発ガン物質と考えられる品目」で、県民せいきょうで取り扱う商品には使用しません。

※医薬品・医薬部外品は除きます。市場流通品で日常的に使用頻度が低く、代替が困難な商品は除きます。

2 「使用制限添加物」42品目

「安全性を量的に判断できる科学的根拠はあるが、懸念すべき問題がある物質」のことで、コープ商品（日本生協連・コープ北陸・県民せいきょう）には使用しないことを基本に、代替ができない原料・商品については取り扱いを行います。一般商品については仕様書にて使用状況が把握、情報提供ができる状態であれば取り扱いを行います。

安全確認業務（商品検査）

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規取り扱い商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

■2024年度検査数

項目	24年度	23年度	前年比	主な検査商品
微生物検査	7,703件	7,761件	99.3%	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査	159件	169件	94.0%	・福井県産直協議会生産者の農産物など
合計	7,862件	7,930件	99.1%	

■工場点検数

24年度	23年度	前年比
35件	32件	109.4%

HACCPに沿った取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準通り製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、食品加工センター、高齢者介護施設きらめきにおいてHACCPに沿った衛生手法で、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。